

学校法人四国大学、全教職員約380名に「LINE WORKS」を導入

学校運営のDX化を行うとともにペーパーレス化でSDGsの取り組みを推進

ビジネス現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」を提供するワークスマバイルジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福山 耕介、以下 ワークスマバイルジャパン）は、学校法人四国大学（理事長：佐藤 一郎）が全教職員約380名に「LINE WORKS」を導入したことをお知らせいたします。

LINE WORKS

人が集まる「人」をつくる、大学。



学校法人四国大学では、2021年度から、DX推進計画を策定するとともに、DX推進を統括する情報戦略推進本部を設置し、学内のDX化を進めています。

本計画において、グループウェア、ビジネスチャットツール、IP電話の導入を検討していたところ、グループウェアとして必要な掲示板機能、共有カレンダーやビジネスチャット、さらにはIP電話の代替としても使える通話機能など、DX推進に必要な多数の機能を有することから、「LINE WORKS」の導入を決定しました。

そのほか、BYODに不可欠な各種OSやデバイスに対応したアプリが無料で提供されている点、誰でも使いやすいUIである点、研究会などの小さな単位でグループを多数作成できるため、所属するグループ単位でのコミュニケーション活性化にも適している点が、今回の「LINE WORKS」導入の決め手となっています。

今後、学生との連絡手段としての活用や、ワークフローとの連携も見込み、DX化を推進するインターナルコミュニケーションツールとして運用を進めます。また、SDGsや、経済産業省が提唱するGX（グリーントランスフォーメーション）に関する取り組みの一環として、ペーパーレス化の推進を行う予定です。

ワークスマイルジャパンは、組織におけるコミュニケーションや情報共有を円滑にする取り組みを進めてまいります。

「LINE WORKS」とは

チャットやスタンプはもちろん、掲示板、カレンダー、アドレス帳、アンケートなど、現場で活用できる充実したグループウェア機能を揃えたビジネスチャットです。コミュニケーションアプリ「LINE」のような使いやすさでありながら、仕事用のツールとして独自に開発、提供を行っています。PCやタブレットのほか、スマートフォンだけでもほとんどの機能が使えるため、オフィスワークだけでなく、拠点や店舗など、現場での活用が進んでいます。

富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2018～2021年版」では、2017年度～2020年度まで4年連続で有料ビジネスチャット国内シェアNo.1を獲得しました。

■会社概要

社名 : ワークスマイルジャパン株式会社

本社 : 東京都渋谷区神宮前1-5-8 神宮前タワービルディング11F

設立 : 2015年6月

代表者 : 代表取締役社長 福山耕介

資本金 : 55億2,000万円

URL : <https://line.worksmobile.com/jp/>

※記載の会社名、製品名は、それぞれ会社の商標または登録商標です。

※本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ワークスマイルジャパン 担当 : 青木

電話番号 : 080-7077-1651

Mail : dl_prjp@worksmobile.com